

第14回電気泳動学会総会号 (1)

目 次

〔特別講演〕

異常蛋白血症についての2・3の免疫学的検討 岐阜医大・乾内科 乾 成 美…(87)

〔一般講演〕

1. Cyanogum 41 (合成ポリアクリルアミド)ゲルによる電気泳動について 東京理大・薬・生理化 ○守屋 寛・渡辺 桂子…(95)
2. アクリルアミドゲルを支持体とするディスク泳動法による血清蛋白の電気泳動 山口大・医・医化 ○茂木 五郎・青柳 竜平…(95)
鈴野 亮輔・分山 敏郎
中村正二郎
3. ディスク泳動法による脳脊髄液の分析 山口大・医・医化 ○麻上 義文・茂木 五郎…(98)
佐々木石根・青柳 竜平
中村正二郎
4. 短波長紫外線による血清蛋白質の寒天電気泳動分析 東京医歯大・国府台分校 ○島尾 和男・小野寺規子…(102)
5. アセチルセルロース膜による血清蛋白超微量分析法 東大・医・小児科 ○門間 和夫 …(104)
6. 細胞電気泳動に関する研究
—血漿および浸出液中の人赤血球移動度— 信州大・医・戸塚内科 戸塚 忠政・松岡 正俊…(105)
甘利 正哉・○小松正裕
7. 糖蛋白および脂蛋白画分の Densitometry に
関する研究 東京医歯大・医・第二内科 大淵 重敬・○大島 誠…(106)
東京医歯大・中検・生化 坂岸 良克・佐藤 礼
東 京 拘 置 所 ○佐瀬 民雄・金子 甫…(110)
8. ヒト血清とヘモグロビンとの沈降反応
9. 濾紙電気泳動図に及ぼす生体外溶血の影響について 中央鉄道病院臨床検査科 ○河合 忠 …(111)
10. カタラーゼの免疫化学的研究 東大・医・生化 東 惠彦・○柴田泰生…(112)
多賀 弘子・伊藤 一重
平井秀松
11. 電気泳動法による補体の研究 (第4報) 信州大・医・生化 ○福島 政夫 …(113)
12. 卵タンパク質の電気泳動的な研究 岐阜医大・生化 伊藤 友喜・○藤井達三…(114)
吉岡 竜策・阿部 管夫
13. ピリミジン系スルホンアミド誘導体の蛋白結合について (第一報)
—Sephadex を用いた蛋白結合量の新測定法の検討— 中外製薬KK総合研究所 ○奥井 清・行方 正也…(114)

本号は昭和38年9月27・28日、岐阜において開かれた第14回電気泳動学会総会 (総会々長岐阜医大・乾成美教授) の講演のうち、特別講演および一般講演を掲載してある。シンポジウム (免疫電気泳動) の内容は次号に掲載の予定。

14. ピリミジン系スルホンアミド誘導体の蛋白結合について (第二報)
——ピリミジン系スルホンアミド誘導体の化学構造と蛋白結合について—— 中外製薬KK 総合研究所 ○奥井 清・行方 正也…(116)
- 15-1. ゲル濾過法による肝蛋白の分離と病肝における変動 九 大・医・榊屋内科 ○平山 千里 …(118)
- 15-2. 抗肝抗体に対応する肝抗原のゲル濾過法による分析 九 大・医・榊屋内科 ○平山 千里 …(119)
16. セルローズアセテート膜に適した電気泳動分析装置 国立遺伝研・生化遺伝 ○小川 恕人 …(120)
17. 血清蛋白分画ならびに血清膠質反応の精度管理の試み 京 大・医・中 検 ○富田 仁・高木 康史…(121)
里田みどり・小野木照子
大居 展子・長谷川嘉子
18. エリテマトーデスにおける尿中アミノ酸の検索 京府立医大・増田内科 藤木 典生・細川 計明…(122)
山本 学・猪谷 猛雄
○石丸 寿一
19. 高電圧濾紙電気泳動による Thyroxine ならびにその近縁物質の研究 (第7報) 日赤中央病院・太中外科 太中 弘・○望月 昭…(123)
高橋 常和・小松 悟
比企 達男・尾崎 憲司
松下 有二
20. 侵襲による血清遊離アミノ酸分画の変動 (第2報)
——特にロイシン, イソロイシン, バリン分画を中心にして—— 新 大・医・外 科 ○三輪 浩次・島田 寛治…(123)
丸田 宥吉・江口 昭治
五十川久士・赤井 貞彦
21. 手術前後の血清および尿中遊離アミノ酸分画の変動 (第6報)
——グリシン加アミノ酸液について—— 新 大・医・外 科 ○赤井 貞彦・島田 寛治…(126)
三輪 浩次・丸田 宥吉
22. ヒスタミン刺激前後における胃液中アミノ酸の変化 慈 医 大・大井外科 大井 実・島海 達爾…(129)
山口 吉康・山口 国美
○宮田 矩人・三瓶 健
糸川 冠治・櫻村 好夫
23. 癌腫および癌患者の血清, 尿蛋白の分画像の経験について 慈 医 大・第三病院 山田 欽・荻原 正雄…(131)
清水 進・土屋 喬
○今川 省・寺岡 昭彦
松岡 継明
24. 血清ならびに組織蛋白質より見た悪性腫瘍について 日大・医・有賀内科 有賀 槐三・長谷 克…(134)
金田 春雄・佐藤 和男
小林 康彦・○渡辺 和享
25. 担癌生体の血漿フィブリノーゲン値について 新 大・医・外 科 ○吉田 圭介・十見 定雄…(134)
赤井 貞彦・宮沢 護
26. 神経疾患における髄液蛋白分画像の種々相 三 鷹 新 川 病 院 科 ○三浦 勇夫・森 文彦…(136)
慶 大・医・神 經 科 伊藤 斎 斎 森 文彦
斎藤 文雄
27. 髄液 β -グロブリン分画増加の意義 慶 大・医・神 經 科 伊藤 斎 斎 三浦 勇夫…(138)
○森 文彦 斎藤 文彦 森 文彦
28. 伝貧馬血清の超遠心分析像 農林省・家畜衛生試験場 ○平沢 澄・田中 享一…(139)
29. 伝貧馬血清における蛋白分画とウィルス活性との関係およびウィルス予備精製について 農林省・家畜衛生試験場 ○田中 享一・平沢 澄…(139)
榊 馨
- 30-1. 大出血に伴う血清蛋白特にアルブミン細分画の変動について 京 大・結 研・外 科 寺松 孝・○加藤康夫…(140)
人見 滋樹

30-2. 各種放射線の家兎血清蛋白に及ぼす影響について	順天大・医・放射線科	○土屋 豊・吉野 純男…(141) 小高 光・橋本 明 日野 昭民・井上 信祿
31. 諸種病態における血清ならびに尿蛋白分画の対比考察	札幌医大・和田内科	○谷内 昭・伊藤 直彦…(142) 小野 貞昭
32. 諸種病態における Seromucoïd 分画の電気泳動的研究	札幌医大・和田内科	○大谷 英樹・谷内 昭…(144)
33. 血清蛋白 Subfraction の電気泳動的研究 —特に β , γ 領域について—	札幌医大・和田内科 札幌医大・癌研	○伊藤 直彦 …(144) 井林 淳
34. 肝疾患時における γ -グロブリンの代謝	九大・医・榊屋内科	○福田 勉・平山 千里…(145)
35. トランスフェリンの分離と肝内生成について	九大・医・榊屋内科	○小鶴 三男・梅田 鉄哉…(147) 平塚 敏・中島 明 榊屋 富一
36. 抗体産生に関する研究 —種々の免疫法による抗体産生能の比較検討—	倉敷中央病院・内科	○三宅 康夫 …(148)
37. 疾患時における α_2 -マクログロブリンの変動	九大・医・榊屋内科	○諸富 郁夫・福田 勉…(151) 平山 千里
38. 諸種内科疾患における血清電気泳動像とマクログロブリンに関する研究	京大・医・前川内科	前川孫二郎○石川嘉市郎…(152) 熊谷 直家・福田 万夫 塘 二郎・堀 健次郎 富田 仁
39. 血清乳酸脱水素酵素の Isoenzyme について	京大・医・中 検	○永井 諄爾・庄野 弘子…(154)
40. 高圧紙泳動法による Isozyme の分離に関する研究 (I) 各種臓器中のアルカリ性ホスファターゼ	東京医歯大・中検・生化	○坂岸 良克・星野 朔子…(155) 宮田 京子
41. アルカリ性ホスファターゼのイソエンチームと各種疾患に関する電気泳動的研究	都立豊島病院・内科 東京医歯大・中 検	名尾 良憲・○小林 晃…(157) 坂岸 良克
42. 肝・胆道疾患における血中 Transaminase の電気泳動に関する研究	東京医歯大・医・第二内科 東京医歯大・中検・生化	大淵 重敬・金山 正明…(158) 坂岸 良克
43. 胃分泌と特色ある可溶性組織蛋白 (F ₀) との関係について	慈医大・大井外科	大井 実・鈴木 峯雄…(160) 海 達弥・山口 吉康 山口 国美・宮田 矩人 ○三瓶 健・糸川 冠治 樫村 好夫
44. 絨毛性ゴナドトロピンの免疫学的研究	日本医大・第二病院産婦人科	大川 公康・大川 了汎…(160)
45. 利胆剤のコレステロール代謝	北大・医・第一生理	○中村 治雄 …(163)
46. 胆汁酸の薄層クロマトグラフィー	千大・医・三輪内科	○黒田 健昭・村越 康一…(164) 上野 高次・大藤 正雄
47. 殿粉ゲル電気泳動による Haptoglobin の検索	岐阜医大・乾内科	渡辺 文彦・安藤 宏…(165)
48. 糖尿病における脂肪負荷試験について(続報)	日大・医・有賀内科	有賀 槐三・長谷 克…(166) 山口 肇久・山本 敏雄 岡部 元美・栗原 博尚 本多 悟・○川崎 達雄
第14回電気泳動学会総会印象記	山口大・医・医化	中村正二郎 …(167)

目 次

〔シンポジウム〕 免疫電気泳動法*

1. 血清学からみた免疫電気泳動法…東大・医・血清学 松橋 直…(171)
白井 美津子
2. 正常ならびに疾患時における血清蛋白質の分析
— α -globulin 領域を中心として—
……………札幌医大・和田内科 谷内 昭…(179)
3. 免疫電気泳動法による血清蛋白質の異常
……………九大・医・榊屋内科 右田 俊介…(195)
小鶴 三男
平塚 敏
戸田 武二
4. 悪性腫瘍患者血清の免疫電気泳動分析
……………倉敷中央病院・臨床医学研 高柳 尹立…(205)
5. 癌の特異抗原の分析……………東大・医・生化学 平井 秀松…(215)

〔原 著〕

1. 飢餓による家兎高コレステロール血症に及ぼす L-アスパラギン酸塩の作用
……………北大・医・第一生理学 中村 治雄…(223)
2. 低蛋白液の透析濃縮についての検討……………
……………新潟大・医・第一内科 佐藤 明夫…(229)
長沼 和男

〔実験技術〕

セルローズアセテート膜による超微量電気泳動法

- ……………東大・医・小児科 門間 和夫…(235)

編集後記……………(243)

* 第14回電気泳動学会総会におけるシンポジウムの講演内容である。特別講演および一般講演は第10巻第2号に掲載された。